学校番号	３２３

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校 世界史Ａ 新訂版　（清水書院）						
副教材等	明解世界史図説 エスカリエ 十三訂版　（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では近現代の世界の形成過程について学習します。
学習にあたっては諸資料に基づいて考察することと、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら考察することが重要で、世界の歴史についての基本的な知識は確実に身につけてください。

２　学習の到達目標

近代以前の諸地域世界の特質と相互の交流を概略的に把握させ、近現代史を中心に現代世界の人類としての課題を追求、具体的・多角的に考察させる。その際、わが国と世界のつながりに着目させ、国際社会に生きる主体的な態度を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を高め、歴史上の諸課題について問題意識を持って意欲的に追求している。国際社会の一員として現代の諸課題に主体的に関わろうとする態度を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし世界史的視野に立って多面的・多角的に考察している。諸課題について歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。	資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。
評価方法	授業態度 発問評価 課題の提出	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ユーラシアの文明と交流	アジア各地域(東・南・東南アジア)の歴史的に培われた社会・文化を理解する。イスラム世界の動向を理解する。 古代ギリシア・ローマ文化とキリスト教を基盤としたヨーロッパ世界を理解する	○	○	○	○	a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。 b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。 c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。 d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査
	一体化する世界	ヨーロッパ近世・近代社会の胎動を理解し、16世紀、世界の一体化の動きを理解する。 ヨーロッパ主権国家体制の確立と大西洋貿易の時代を理解する。						
2学期	拡大する欧米とアジア・アフリカ	イギリス産業革命と資本主義の確立、社会・労働問題が発生したことを考察する。 アメリカ独立革命からナポレオン戦争にいたる過程と歴史的意義を理解する。 ウィーン体制の動揺・崩壊を考察し、19 世紀ヨーロッパ社会の変容について理解する。 アメリカ西部開拓の進展と南北戦争による社会変化を考察する。 ヨーロッパの進出がアジア・アフリカに与えた影響、抵抗運動・民族意識の形成などについて考察する。	○	○	○	○	a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。 b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。 c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。 d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査
	世界戦争の時代	ヨーロッパ国民国家が帝国主義にすすむ過程を考察する。 第一次大戦の背景について理解し、世界恐慌が戦間期前半の国際秩序に危機をもたらしたことを理解する。 ヨーロッパにおける第二次大戦の展開と太平洋戦争について理解する。						

3学期	大戦後の世界と現代社会	冷戦体制の成立、国際連合成立の意義を考察する。1960～70年代のアジア情勢を考察する。 社会主義体制の崩壊と展開を考察する。 冷戦終結後のグローバル化を考察する。 冷戦終結後の世界でおこった地域紛争の歴史的背景について探求し、これからの国際社会の課題について考察する。	○	○	○	○	a: 歴史上の諸課題について問題意識をもって意欲的に追求している。 b: 歴史的観点から考察したり判断したりした過程や結論を適切に表現している。 c: 資料や情報を効果的に活用することを通して歴史事象について追求する学び方を身につけている。 d: 世界の歴史についての基礎的な知識を身につけている。	授業態度 発問評価 課題の提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。